

## 隔月（2カ月に1度）検針にご理解を

給水収益が減少していくなかで水道事業を維持していくためには、料金を上げるか、経費を下げるかの方法しかありません。こうした中、経費のさらなる削減のため、平成29年4月から従来の毎月検針方式から、2カ月に一度の隔月検針方式に移行することとしました。隔月検針は県内のほとんどの市で採用されており、これにより検針にかかる費用がほぼ半分にになります。

### ■ 隔月検針にしても水道料金の増減はありません

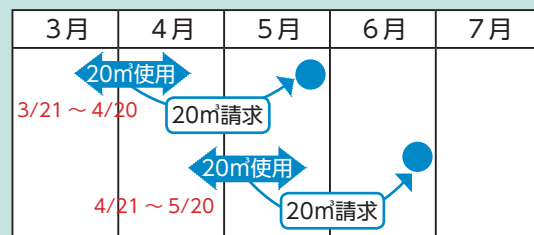
2カ月に1度行う検針水量を各月に均等割り（半分ずつ）にして料金を算定するので、年間総額に影響はありません。隔月検針のイメージは右の図のようになります。

平成29年4月は検針を行わないため、4月分使用水量に対する請求は、翌月の5月分使用水量に対する請求と合計して、6月と7月に分けてお支払いいただきます。このため、平成29年度5月には水道料金の請求は行いません。

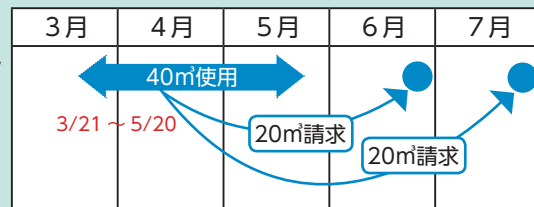
### ■ 芦原温泉上水道財産区の給水区域の世帯に変更はありません

今回の検針方式の変更は、市の水道事業の給水を受けている世帯が対象となります。そのため芦原温泉上水道財産区の給水区域（舟津温泉、二面温泉、田中温泉、牛山および二面の一部）の世帯は従来どおりの検針および請求となります。

これまでの検針および請求方法



平成29年4月からの検針および請求方法



### 漏水発見が遅れないように注意してください

これから寒くなると、住宅敷地内の水道管が凍結・破裂して漏水が多く発生します。加えて、隔月検針となることによって、漏水の発見が遅れる可能性があります。住宅敷地内の水道管はご自身の所有物ですので、その修理費用や漏水した場合の水道料金は、ご自身で負担いただくことになります。

定期的にメーターを確認するなどして、漏水の発見が遅れないようご注意ください。

#### 水道メーター

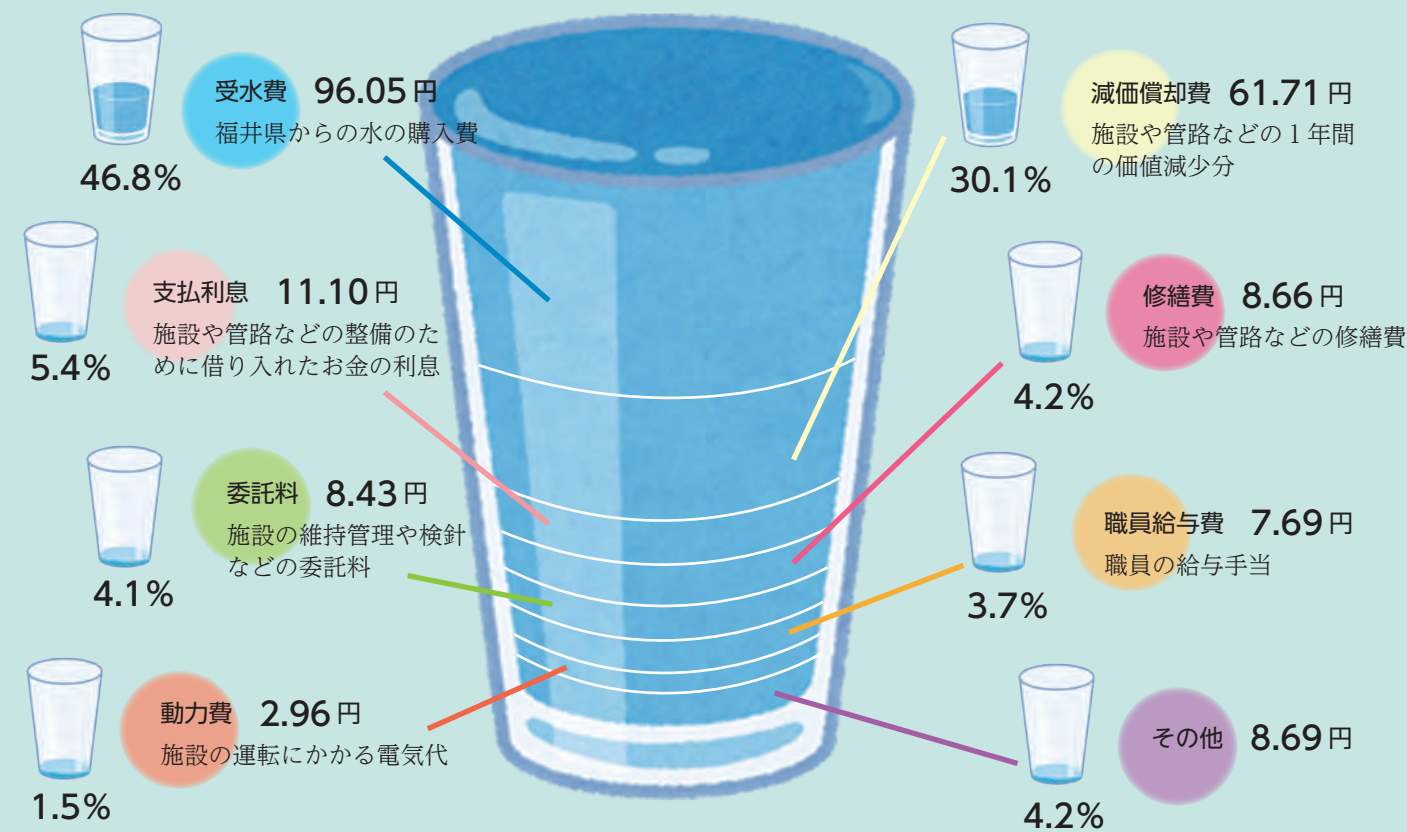
カウンタ：何mの水が流れたか計ります。  
パイロット：水が流れると流れた方向へ回る仕組みになっています。

蛇口が閉まっているのにパイロットが回っていると、漏水の可能性があります!!



### 水道水の供給に係る費用は？

1m<sup>3</sup>をコップ一杯の水に例えると……



あわら市の水道水は1m<sup>3</sup>（1000ℓ）を届けるのに**205円**かかっています。（H27 決算数値）  
不足分は一般会計からの補助金で補っています。

#### 市の水道料金体系

|                           |       |
|---------------------------|-------|
| 基本料金（10m <sup>3</sup> まで） | 1100円 |
| 超過料金（1m <sup>3</sup> につき） | 155円  |

## 郷土歴史資料館 だより

### 新規指定文化財紹介

新年からおめでたい話題です。新聞記事などでも報道されましたが、12月6日付けで「仏徳寺天満神社石造狛犬（2対）」「根上り神明神社石造狛犬（1対）」「伊井白山神社石造狛犬（1対）」の3件を新たに市の指定文化財に指定しました。

名称を見ると分かる通り、今回指定したのは全て「石造狛犬」です。なぜ珍しくない狛犬を文化財にしたのかと不思議に思う人もいると思います。今回指定した3件は「越前狛犬」と呼ばれる福井県で古くから作られた狛犬です。「越前狛犬」と



▲伊井白山神社石造狛犬（1対）



▲根上り神明神社石造狛犬（1対）

は戦国時代から江戸時代にかけて、福井県で産出される笏谷石で作られた狛犬の総称で、髪型や尻尾・台座などに特徴があります。

日本における石造狛犬の歴史は浅く、早くて江戸時代後期ごろ、ほとんどは明治時代以降に作られています。そのような中で福井県は笏谷石とい

う加工しやすい石の産地であったことから、戦国時代（16世紀初）から石造狛犬を生産し、県内だけでなく北日本の日本海沿岸地域にも多くの事例が残されています。

今回の3件は、そのような越前狛犬の中でも①阿吽像が対で残っていること、②生産年がはっきり分かることなどから指定となりました。ですが、越前狛犬と思われるものが、あわら市内にはこれまでの調査で120体以上確認されています。これらも地域の歴史を伝える貴重な文化財ですから、これを機に価値を再確認いただき、地域の神社で見かけたときは、大事にしてください。



▲仏徳寺天満神社石造狛犬（2対）

郷土歴史資料館（金津本陣 IKOSSA 2階）  
休館日 月曜日・第四木曜日（祝日の場合はその翌日）  
開館時間 9時30分～18時（最終入館17時30分）  
問合せ ☎73-5158



# 上下水道課からのお知らせ

問合せ 上下水道課 上水道G ☎73-8036

蛇口をひねれば安全・安心な水が出てくる。今は当たり前のことになりました。これからもこの当たり前を続けていくためには、さまざまな問題を解決していかなければなりません。あわら市の取り組みにご理解とご協力をお願いします。

### 市の水道事業の現況

市の上水道事業の収益の根幹をなす給水収益（水道料金として収入となる収益）は、人口減少や節水器具の普及などで減少傾向にあり、10年前に比べると1割ほど減っています。しかしながら、収益が減っても施設数や水道管の延長は変わらず、これまでどおりの維持管理が必要です。また、老朽化していく施設は計画的に更新を進めていかなければなりません。

このように、年々厳しくなる財政状況のなか、収益確保のため収納体制を強化して滞納額を減少させるとともに、費用削減のため業務を一部民営化するなどの取り組みを推し進めてきました。

